

①理工農・デジタル系人材育成

- AI時代に必要なのは、何よりも「好奇心」。高校に来る前に、小学校、中学校段階でいかに好奇心を育てるかが重要。
- もはや理系・文系と分けて話をするのが難しくなってくると思う。理系はより高度な社会への発展あるいは貢献を目指して人材を育成していくということが求められるし、文系にはサイエンスオリエンテッドな素養が必要ではないか。
- 数学が嫌いになる原因は受験も含めた教育現場にある。どのように魅力的にうつるよう作り直していくか。
- 優れた人材を多く育てるには、誰もが学びたいことを学べる環境整備が必要。特に理系で学んで社会に出る方は多くの奨学金の返済を抱えてしまうことへの対応が必要。
- 女性は理系に向かないという先入観が、依然として社会には残っており、その払拭は必要であり、ロールモデルとなる女性の理系の教員を増やす等の改革も必要。
- 理系人材を増やすためには、能力の問題ではなくジェンダーステレオタイプが大きな原因。進路選択の分岐点である、特に中高生段階での取組が非常に重要。学力ではなく関心、自己効力感が課題となっており、体験とロールモデルが課題解決の鍵。
- 現代は、科学技術が社会を牽引している。1つの分野を学んで人生を終えるモデルは古い。今の科学技術を支える能力、次の科学技術を生み出す能力、変化に対して対応できる能力といった3つの能力が必要。
- 文系・理系という区分は、長年、社会や教育制度に深く根づいているため、変更するのは難しいと思うが、入試制度含め再検討が必要ではないか。
- 理系に進学した場合の社会・経済的なメリットを明確にすべき。中国などではデータサイエンス、ITといったいわゆる理系型の就職の方が好条件というインセンティブ構造が存在しており、日本において理系育成を進める場合は教育以外の観点で制度設計も進める必要。
- 大都市圏の私立大学を理系転換して理系人材を増やしたとしても、地方に人材を戻すというシステムとセットで作らないと、地方衰退は避けられない。
- 今後、理系人材を増やしていく役割は、主に私立大学が担うことになるが、経営的に難しい。施設も含めた長期的な支援が必要。

②地域を支える人材育成

○これからの地方を維持・成長させていくためには、地方大学の存在が不可欠。人口減少の防波堤となる役割を地方大学が担う。その際、首都圏の大学のダウンサイジングや地方移転・サテライトキャンパスのような取組は避けられないのでは。

○このままの状態では各法人の経営判断に委ねてしまうと、地方から大学が消えて、若者の進学断念、それから都市部への集中が進んでしまう。これは国力維持と地方創生の問題であり、規模の縮小と質の向上、アクセス確保を進める公的な制度・支援等を省庁横断でお願いしたい。

○地域構想推進プラットフォームについては、理系人材や地域を支える人材の育成にあたって重要。地域や産業のニーズを踏まえて人材育成に取り組むことが地方創生につながるものであり、プラットフォームの活用にあたっては、働く現場の声も取り入れてほしい。

○大学には地域産業を支える、いわゆる知の拠点として、地域振興の担い手となる人材を育成・輩出する役割が求められており、地域の高等教育の将来像を産学官で共有し、地域に必要な人材や規模感を踏まえた取組を着実に実行していくことが鍵。

○地域産業を支える専門人材が必要。地域に居住し、産業課題を自身の課題として研究するレジデント型研究のスタイルは、地域に専門人材を定着させていくために有効ではないか。研究者の評価が、論文のみでない形で評価されるようになれば、地域定住をする研究者も増えていくのでは。

③高等教育の質向上等

- 教育の質は入試の選抜性や知名度とは別軸であり、学修成果の可視化やカリキュラムマネジメントなどを通じた質保証が重要。今後大学の規模が縮小していかざるを得ないときに、質の低下ではなく向上につなげていかなければならない。
- トップ層の大学だけでなく、中間層のボリュームゾーンの大学のレベルを上げていかないと、日本全体で能力が上がっていかないため、頑張っている中間層への支援が重要。
- 研究者を目指す方向けのものと併せて、社会人を受け入れる大学院の強化も必要。
- 今までの知識を覚えて、問題を解いて課題解決するといった課題解決力よりは、課題発見力、課題解決の方策を見出す能力というところに、今後の高等教育の重点が置かれるべき。理系文系関係なく、学びの本質を問うことが重要。
- 初等中等教育から高等教育の間にギャップがあり、大学入試の成績と卒業時の成績は相関がない。大学教育でどう育てるかが重要。また、大学の卒業時の能力と企業が求める能力の間にもギャップがある。企業からの求める能力の明確なメッセージが必要ではないか。
- 高専の教員確保が課題。研究したい人は高専の教員に定着しづらい。高専も含めて、教える人材をどう育てていくか。
- 高等教育機関は社会人の学び直し、リスキリングにも大きな役割を果たせる。課題は時間と資金と言われているが、資金的な支援や仕事と両立できるカリキュラムの編成、あるいはサテライト講座なども整備しながら人材確保を進めるべき。